

# 衣類の「取扱い表示」が変わります

商品検査センターの情報を皆さんに伝える /

## CHROMATO

「くろまと」のネーミングの由来は、分析機器クロマトグラフからです。



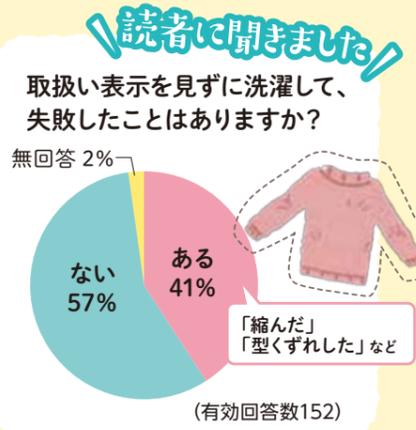
ポリエステル 100%


このマークがついた夏物のおしゃれ着、どうやって洗いますか？

- 1 おしゃれ着洗い用洗剤でやさしく手洗いする
  - 2 クリーニング店に出す
- ヒント：左上のマーク

こたえは4ページに

近年、衣類などの生産や流通は海外との取引が一般的になり、洗濯機やクリーニング技術も進歩しています。これらの変化に対応するため、衣類など繊維製品の「取扱い表示」が、国際規格に統一されることになりました。2016年12月からは、旧表示に混じって新表示のものが店頭に並ぶこととなります。みなさんは普段、衣類の取扱い表示を見えていますか？ しっかり見て購入し、洗濯される方や、ほとんど見ない方、さまざまだと思います。今回は、見慣れた表示が大きく変更されます。表示の意味を知らずに洗濯して大切な衣類を台無しにしたりしないよう、この機会にぜひ勉強してみませんか。



### 表紙のこたえ

#### 2 クリーニング店に出す

☒マークがついていた場合、これまでは経験上、家庭で手洗いされていた方も多かったと思われそうですが、新表示では厳格に「家庭では洗濯できません」の意味となります。クリーニング店に出すようにしましょう。



まとめ 今までの表示との変更点、大きくは次の3点です。

#### 1 記号が変わります

5つの基本記号に、「付加記号」や「数字」を組み合わせて表現されます。一見ややこしく見えますが、法則性があるので、意外と簡単に覚えられます。

5つの基本記号		付加記号	
	家庭洗濯		漂白
	乾燥		クリーニング
	アイロン		強さ
	温度		禁止

#### 2 参考情報が簡単な用語で付記されます

新しい表示は、世界共通の記号のため記号自体には日本語は入りませんが、その近くに簡単な用語で表示するようになります。

表示例

現行	新表示では

#### 3 指示表示から上限表示に変わります

現行の表示記号は、「この方法で洗濯するのがよい」と、メーカーの意思が反映した表示になっていました。新しい表示記号では、「その記号の条件が、それよりも弱い条件で洗う」という考え方に変わります。大切な衣類を守るためにも、必ず表示と同じか、よりゆるやかな洗濯条件で洗いましょう。

#### 編集後記

今号には掲載していませんが、家庭洗濯の記号には (95℃の熱湯で洗濯) というものもあるんです。梨木香歩さんの『西の魔女が死んだ』という小説の中で、ふきんやテーブルクロスを大鍋でぐつぐつ煮洗いのシーンがあるのですが、それを思い出しました。日本では一般的ではありませんが、ヨーロッパなど水のミネラル量が多い国では、洗剤が溶けにくいと高温で洗濯することが多いようです。洗剤や洗濯機の性能も、国によって違うのでしょうか。取扱い表示が世界共通になったことで、洗濯のお国事情もちらりと見えて興味深いです。



CHROMATO くろまと  
2016.10 Vol.61  
コープこうべ 商品検査センター発行  
発行/2016年10月 印刷/株甲南堂印刷  
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3-20 TEL (078) 453-0116  
イラスト/浦嶋亮己

# 主な表示の比較表 保存版

## 現行表示

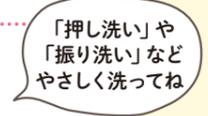
### 家庭洗濯

	液温は40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗い)が良い
	液温は30℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗い)が良い
	液温は30℃を限度とし、弱い手洗いが良い 洗濯機は使用できない
	水洗いはできない



## 新表示

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる
	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる
	液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる
	液温は30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる
	液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる
	液温は30℃を限度とし、弱い手洗いが良い 洗濯機は使用できない
	液温は40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる
	家庭では洗濯処理はできない



### 漂白

	塩素系漂白剤による漂白ができる
	塩素系漂白剤による漂白はできない

	塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる
	酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない
	漂白処理はできない



### アイロン

	アイロンは210℃を限度とし、高い温度(180~210℃まで)でかけるのが良い
	アイロンは160℃を限度とし、中程度の温度(140~160℃まで)でかけるのが良い
	アイロンは120℃を限度とし、低い温度(80~120℃まで)でかけるのが良い
	アイロンがけはできない

	底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる
	底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる
	底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる
	アイロン仕上げ処理はできない



## 現行表示

### 乾燥

	吊り干しが良い
	日陰の吊り干しが良い
	平干しが良い
	日陰の平干しが良い

## 新表示

	脱水後、吊り干し乾燥が良い
	脱水後、日陰で吊り干し乾燥が良い
	濡れ吊り干し乾燥(脱水は行わない)が良い <span style="color: red;">絞らない</span>
	日陰での濡れ吊り干し乾燥(脱水は行わない)が良い <span style="color: red;">絞らない</span>
	脱水後、平干し乾燥が良い
	脱水後、日陰で平干し乾燥が良い
	濡れ平干し乾燥(脱水は行わない)が良い <span style="color: red;">絞らない</span>
	日陰での濡れ平干し乾燥(脱水は行わない)が良い <span style="color: red;">絞らない</span>

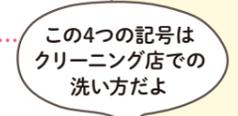
### クリーニング

	ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロロエチレン又は石油系のものを使用する
	ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する
	ドライクリーニングはできない

	パークロロエチレン及び石油系の溶剤でのドライクリーニングができる
	石油系の溶剤でのドライクリーニングができる
	ドライクリーニング処理はできない



	業者によるウェットクリーニングができる
--	---------------------



### 無くなった表示

	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのが良い
	絞ってはいけない

※タンブル乾燥とは、「衣類を熱と共に回転させながら乾燥させること」。アメリカやヨーロッパでは、タンブル乾燥が一般的なので、このようなマークが加わりました。

### 新しく追加された表示

	洗濯後、タンブル乾燥*処理ができる高温乾燥で排気温度の上限最高80℃
	洗濯後、タンブル乾燥*処理ができる低温乾燥で排気温度の上限最高60℃
	洗濯後のタンブル乾燥*処理はできない